

平成22年度地域木造住宅市場活性化推進事業費補助金成果報告書

1. 事業名

「木造住宅・建築における構造デザイン・テキストの編纂・製作に関する事業に関する事業」

2. 事業実施期間

平成 22年 6月 ～ 平成 23年 2月 27 日

3. 事業主体

特定非営利活動法人 木未来

4. 事業の成果

事業の目的と背景

木造住宅や大規模木造建築における技術革新や技術進化が急速に進行しているなか、木造建築全体を概観できる技術的資料は特に少なく、専門の領域に関するものが多い。今後、木造住宅・木造建築への担い手を育成する視点で、工高から高専・大学、そして実務者までを見据えた木質構造のデザイン、テキストの編纂・製作により若手の向上心、興味、意欲などを育成するようなテキスト資料の作成を考える。

事業の進行と成果

テキストの構成としては「木質構造建築読本」（木質構造研究会編、井上書院発行、1988年第1版発行）テキストの項目・カテゴリーを再整理し、改定版として位置づけられるようなものを検討した。編集に際しては各分野の研究者、実務技術者などエキスパートが集結する木質構造研究会に提言し、本テキストの編集委員会を設け対応した。近年の木質建築構造を取り巻く環境も大きく変化するなかで全体像が概観できるテキスト構成とするため、新たに項目内容に検討を加え体系的に分類、再構築した。

例えば、中心となる構造・木質材料などにおいては今後、木質材料、木質構造の一躍を担うものと考えられるLVLやマッシュホルツ構法（クロスラミナ）、そして木質系ラーメン構造などの状況、また木質構造の発展に今後も重要とされる各諸要素の評価として耐火性、省エネルギー性、居住性などや地球環境とCO<sub>2</sub>における森林・木材の関係性などの領域も網羅している。

テキストは木材、木質構造を取り巻く現状での位置が概観できる内容となっており建築技術者、設計・実務者はもとより学生諸子への参考テキストとして有効に活用できる範囲、また内容となるものとする。

## 今後の進行と課題

今後、当 NPO 法人の関わる範囲で予定される、木質材料・木質構造関連における構造講習会、また担い手育成セミナーなどにてテキストとして広く活用を行い、木質材料・木質構造を概観するための導入書としての活用を積極的に果たしていくために、先ず都市圏においては担い手育成セミナーなどを開催実施し、講習内容により主または副読本としてテキストを採用し、木質建築についての理解、普及を図りたいと考えている。

また、全国的に販売を行う出版社との販売委託というかたちで全国書店への展開を図る計画としている。

## 展開の構成とイメージ

